

第5学年 英語科 単元指導計画 (JUNIOR TOTAL ENGLISH I)

単元計画 Lesson6

L.6 できること Can you walk on *takeuma*?

【単元の目標】

「クラスの友達誰でしょうクイズ」を行うために、スポーツや料理など、児童の身近なものについて、友達のできることを尋ねたり、答えたりすることができる。また、友達紹介カードを作成するために、友達ができることを伝える文を書き写すことができる。

【単元の評価規準】

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと (やり取り) 第4時 第6時	<p><知識> 友達のできることを尋ねたり、答えたりする表現 Can he/she ~? He/She can ~.及び動作の語句を理解している。</p> <p><技能> Can he/she ~? He/She can ~.及び動作の語句を用いて、友達のできることを伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>「クラスの友達誰でしょうクイズ」を行うために、友達のできることを尋ねたり答えたりしている。</p>	<p>「クラスの友達誰でしょうクイズ」を行うために、友達のできることを尋ねたり答えたりしようとしている。</p>
書くこと 第7時	<p><知識> 友達のできることを伝える表現 He/She can ~.及び動作の語句について理解している。</p> <p><技能> 音声で十分に慣れ親しんだ友達のできることを伝える表現 He/She can ~.及び動作の語句を書く技能を身に付けている。</p>	<p>友達紹介カードをつくるために、友達ができることについて伝える文を音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて書いている。</p>	<p>友達紹介カードをつくるために、友達ができることについて伝える文を音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて書こうとしている。</p>

※本単元における「聞くこと」及び「読むこと」については、目標に向けて指導は行うが、本単元内で記録に残す評価は行わない。

【単元のゴール】

「クラスの友達誰でしょうクイズ」をしよう。

	内容 C:Child A:ALT H:HRT	評価規準
第 1 時	<p>○Song 『EENTSY , WEENTSY SPIDER』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型テレビの画面が児童に見えないようにしておく（歌の写真を見せないため） ・1 回目は普通の速さで、2 回目以降は児童の実態を観ながらゆっくりで再生しても良い <p>①回目：画面が見えないので、音声のみ聞かせる。 What did you hear? 「spider が聞こえました」</p> <p>②回目：spider が聞こえたら挙手するようにして再度聞かせる。 What else did you hear? 「rain です」</p> <p>③回目：rain が聞こえたら挙手するようにして再度聞かせる。 What's this song about? 「どんな歌だと思えますか？」 spider や rain の意味から「蜘蛛」や天気「雨」が想像できると良い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が他の言葉を聞き取ったとしてもジェスチャーなどを使って意味がわかるようにできると良い <p>④回目：(歌詞は見せない) 画面(イラスト)が見えるようにして、自分のイメージとイラストを比べさせながら聞かせる。 H:What else did you hear? C:「●●です」</p> <p>⑤回目：●●の部分が聞こえたら挙手するようにして再度聞かせる。</p> <p>○Scene</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初から最後まで聞かせる。 ・場面絵と関係する会話の箇所を示し、時折助言をしながら児童が何となく内容が理解できるように補助しながら集中して聞かせる。 <p>○Sounds & Letters</p> <ul style="list-style-type: none"> ・p84 の ox / omelet / octopus <p>①O の名前と読みを予想させる。その上でイラストを指差し、英語で何と読むか予想させ、確認する。</p> <p>②ジングルを聴かせる。</p> <p>③ジングルの声に合わせて言わせる。</p> <p>○Let's Listen A</p> <p>①回目：場面絵を見せながら聞かせる。 H:How many times did you hear, "can"?</p>	<p>※単元導入期のため、本時は記録に残す評価は行わない。</p>

②回目：can が何回出てきたから確認させるためにもう一回数えながら聞かせる。

- ・何の話をしているのか児童と軽く確認をする。
- ・「竹馬や一輪車に乗れるのか」という内容だと確認する。

H:エマは何ができていますか?できるといっている表現の時に挙手をしましょう。

③回目：挙手させながら聞かせる。

H:ケンタは何ができていますか?できるといっている表現の時に挙手をしましょう。

④回目：挙手させながら聞かせる。

H:できることをいう時は「can」を使うんですね。

- ・エマやケンタのできることを、児童にできるか問いかけてみる。

Yes.やNo.のみで答える児童には、「You can ~.」で言い直す。

○Let's Chant A

①回目：場面絵と共に聞かせる。

②回目：全体でリズムに合わせて声に出して言う。

○Activity A①

- ・(1)を行う。一度はPCで聞かせて、確認の際にはHRTがゆっくりと再度読みながら答え合わせを行う。
- ・(2)を行う。一度はPCで聞かせて、確認の際にはHRTがゆっくりと再度読みながら答え合わせを行う。

○Activity A②

・(1)を行う。1回目は通常の速さで聞かせ、2回目は早いスピードで聞かせる。児童に動物になりきらせ、教師がCan you ~?で質問して答え合わせを行っていく。

- ・時間が余ったら列ごとにできることを聞いていく。

○Scene

- ・最初から最後まで再度聞かせる。
- ・たくさん聞いてきた英語が初めよりも聞こえると良いことを伝える。

○Reflection

- ・学びの地図を提示し、今回の学習に該当する部分に触れる。
- ・2～3人の児童の振り返りを発表させる。1人は振り返りの視

	<p>点がよい児童を教師側が意図的指名し、発表させるとよい。</p>	
<p>第 2 時</p>	<p>○Song「EEATSY,WEENTSY SPIDER」 H：今回の歌は、クモが出てくる歌でしたね。場面を想像しながら、1番は聞き、2番は歌える所と一緒に歌ってみましょう。</p> <p>○Sounds&Letters “Pp” H：今日の Sounds&Letters です。音声を聞いて、どんな言葉が出てくるかを確認しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初めに Sounds&Letters の音声を聞き、児童にどんな音が聞こえたか確認する。ALT が丁寧に発音したものをよく聞かせる。 ・上手く発音するポイントを伝える。P/p/は最初、唇をしっかりと閉じた状態にし、唇に力を入れて、口の中から息を「プッ」と出す感じで発音する。 ・リズムに合わせてテンポよく発話させる。教師と一緒に口ずさむようにする。 <p>○Let’s Chant</p> <ul style="list-style-type: none"> ・デジタル教科書を活用して、場面絵を見せながら聞かせる。 ・教師と児童でパートを分けたり、ペアで分けたりしながら、リズムに乗って声を出すように促す。 <p>○Activity A② (2)を行う。最初に HRT と ALT が(1)の内容でやり取りを行い、一人ひとりと会話していく。</p> <p>A：I can jump high. Can you jump high? H：Yes, I can. I can jump high. Can you swim? A:No, I can’t. I can’t swim. Can you swim? H:Yes, I can. Can you swim?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・列ごとに立たせて教師と児童でやり取りを行う。 <p>H：先生方のできる事が分かりましたね。次は友達に自分で質問してみましょう。クラスの中で自分とできる事が同じ人を見つけましょう。何人見つけられるかな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>自分のできることを伝え、友達にもできるかたずねてみよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・会話の流れから自然に本時のめあてを立てる。 <p>○Activity A③ H：では、自分のできることをワークシートに書き、友達と会話</p>	<p>※単元導入期のため、本時は記録に残す評価は行わない。</p>

	<p>をしてみましょう。 <u>また、Wordlist からさらに聞いてみたいことを選んでたずねてみるもよいかもしれませんね。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童同士でやり取りをする前に、動画で確認する。 ・一方の列を固定し、一人一人とできることをたずね合う。 <u>その他の枠は強制ではないので、使用しなくてもよい。あくまで児童が本当に伝えたいという意思を優先していく。</u> <p><u>☆単元のゴールの活動に向けて、オクリンクに自分のできることカードを作成していく。</u></p> <p>○Activity A④ Reading & Writing</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALT に 1 文全て読んでもらい、「How many words?」と問う。 ・スペースの数も確認し、単語と単語の間隔にも目を向けさせる。 ・ALT が単語を読み、聞こえた単語の文字を指で追いながら聞かせ、音と文字を繋げるようにする。何回か聞かせた後に、一緒に発話させる。 ・丁寧になぞってから、残りの 4 線に書き写すよう促す。 <p>○単元のゴールの提示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本単元のゴールを、ALT が児童に示す。 <p>H：今回のゴールは「クラスの友達、誰でしょうゲーム」です。このゴールに向けて、EタイムやELで準備を進めていきましょう。では、ALTの先生と先生でお手本を見せます。みなさんは誰なのかを当ててください。</p> <p>【単元のゴール】</p> <p>H:He can ski. Who is he? A:Ummm… Can he walk takeuma? H:Yes, he can. A:Can he play socccor well? H:No, he can't. C:Is he ○○? (児童に考えさせ、答えさせる。) H:Yes. That's right.</p> <p>○Reflection</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びの地図を提示し、今回の学習に該当する部分に触れる。 ・2～3人の児童の振り返りを発表させる。1人は振り返りの視点がよい児童を教師側が意図的指名し、発表させるとよい。 	
第 3	<p>○Song 『EENTSY , WEENTSY SPIDER』</p> <p>①回目：手遊びを教えてから歌わせる。</p>	※本時は記録に残す評価は行わない

時	<p>・ Can you do this?と問いかけながら、can をたくさん聞かせる。</p> <p>②回目：もう一度歌わせる。</p> <p>・ ジェスチャーがどんな意味を表しているのかを問い、英語と意味の一致をはかっていく。</p> <p>③回目：意味も考えながらもう一度歌わせる。</p> <p>○Sounds & Letters</p> <p>・ p86 の quiz / queen / quail</p> <p>①Q の名前と読みを予想させる。その上でイラストを指差し、英語で何と言うか予想させ、確認する。</p> <p>②音声を聴かせる。</p> <p>③音声に合わせて声に合わせて言わせる。</p> <p>○その他のシーンのスクリプト 4 つ</p> <p>・ 教科書 82 と 83 のイラストを見せながら、そのイラストについて児童やり取りをしながら、①から④のシーンの表現を児童に予想させてから音声を聞かせてリピート練習する。</p> <p>○Let's Listen B</p> <p>①回目：場面絵と関係する会話の箇所を示し、時折助言をしながら児童が何となく内容が理解できるように補助しながら集中して聞かせる。</p> <p>②回目：How many time did you hear "can"?と聞き、「can」が出てきたところで挙手させながら聞かせる。</p> <p>③回目：Raise your hand when you hear "can't"と言い、「can't」が聞こえた時のみ挙手させながら聞かせる。</p> <p>④回目：Raise your hand when you hear "he"と言い、「he」が聞こえた時のみ挙手させながら聞かせる。</p> <p>⑤回目：Raise your hand when you hear "she"と言い、「she」が聞こえた時のみ挙手させながら聞かせる。</p> <p>○Let's Chant B</p> <p>①回目：場面絵と共に聞かせる。</p> <p>②回目：全体でリズムに合わせて声に出して言う。</p> <p>③回目：教師と全児童とで役割を分けて交互に言う。</p> <p>○Activity B①</p> <p>・ 問題文を読み、状況を理解させる。</p>	い。
---	---	----

	<p>Take your pencils.と言い準備をさせたら、Are you ready?と言 い</p> <p>①音声を聞かせる。○をつけさせる。 ②答えあわせをする際、教師が再度ゆっくりと読み上げながら意 味を諭すようにして解答を確認する。</p> <p>○ActivityB ②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題文を読み状況を理解させる。 <p>(1) 音声を聞かせながら、それに該当する有名人を記入させる。 HRT も同時に行い、児童がそれを当てるような活動につなげて も面白い。</p> <p>(2) ①Who can swim fast?と児童に聞き、児童が答えた児童に対 して He(She) can swim fast.と言い、全員でリピート練習させる。 ②He can run fast. ③She can sing well. ④He can paint pictures well.も同様に行う。</p> <p>○Scene</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最初から最後まで再度聞かせる。 ・たくさん聞いてきた英語が初めよりも聞こえると良いことを伝 える。 <p>○Reflection</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びの地図を提示し、今回の学習に該当する部分に触れる。 ・2～3人の児童の振り返りを発表させる。1人は振り返りの視 点がよい児童を教師側が意図的指名し、発表させるとよい。 	
第 4 時	<p>○Song</p> <p>H：1番は聞き、2番は歌えるところを一緒に歌ってみましょう。 ・歌詞カードの絵と文字を見せながら、教師と児童で一緒に口ず さむ。教師がイラストを指で指示したり、ジェスチャーをしたり しながら、音と意味を一致させていく。 ・1番は教師、2番は児童のみで歌を口ずさむ。</p> <p>○Sounds & Letters “R r”</p> <p>H：今日の Sounds & Letters です。音声を聞いて、どんな言葉が出 てくるか確かめましょう。 ・初めに Sounds & Letters の音声を一度聞き、児童にどんな音が 聞こえたか確認する。 ・上手に発音するためのポイント(やや口を尖らせて、下を喉の奥</p>	<p>や〈知〉 友達のできることを 尋ねたり、答えたりす る表現 Can he/she ～? He/She can ～. 及び動作の語句を理 解している。</p> <p>や〈技〉 Can he/she ～? He/She can ～.及び 動作の語句を用いて、 友達のできることを 伝え合う技能を身に</p>

	<p><u>の方に持っていき、発声する</u>)を伝えてから、ALT の発音を聞いたものよく聞かせ、同じように繰り返し発話する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リズムに合わせてテンポよく発話させる。教師と一緒に口ずさむようにする。 <p>○Let's Chant</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Sounds&Letters 後に流れるように、リズムのよいチャンツを聞かせる。学習がぶつ切りにならないよう気をつける。 ・1回は全員で AB パート、2回はペアで Apart と Bpart に分けてリズムにのって口ずさむ。 <p>○Activity</p> <p>H：今日は3人グループで、友達のできることをたずね合いましょう。友達のことをもっとたくさん知れるといいですね。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Activity③の動画を流し、やり取りの流れや目標表現の言い方を児童に意識づける。 ・3人組となるので、児童の中から一人選出し、教師とのやり取りを一緒に行う。 <p>H：(ALT のできることを想像しながら・・・)</p> <p style="padding-left: 40px;">She can play basketball well.</p> <p>C&H：Can you play basketball well?</p> <p>A：Yes, I can. I can play basketball well.</p> <p style="padding-left: 40px;">：She can sing well.</p> <p>A&C：Can you sing well?</p> <p>H：Yes, I can. I can sing well.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・何人かに話を振りながら、列ごとにまだ発表していない児童のみとやり取りをしていく。目標表現である「<u>He(She) can play～.</u>」をしっかりとと言えるよう、教師は助言や支援を行っていく。 ・<u>助言や支援については、児童にリピートをさせるのではなく、正しい表現を用いた会話を児童に繰り返し聞かせることで、徐々に習得させていくことを目的として行う。</u> <p>H：前回よりももっと詳しく、先生方のできる事が分かりましたね。クラスの友達のできることも想像したり尋ねたりして、運動会、音楽会前にもっとクラスの仲を深めましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活班のメンバー以外で3人組を作り、グループで B③の活動を行う。2～3回メンバーを入れ替えて活動できるようにする。 ・Wordlist を活用した児童がいた場合は取り上げ、語彙を広げていくが、他の児童に強制となるような声掛けはしないよう留意す 	<p>付けている。</p> <p><動画・行動観察></p>
--	--	--------------------------------------

	<p>る。</p> <p>○Activity B④ Reading & Writing</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ALT に 1 文全て読んでもらい、「How many words?」と問う。 ・ALT が単語を読み、聞こえた単語の文字を指で追いながら聞かせ、音と文字を繋げるようにする。何回か聞かせた後に、一緒に発話させる。 ・丁寧になぞってから、残りの 4 線に書き写すよう促す。 <p>○Reflection</p> <p>★前回の振り返りでよく書けていた児童の振り返りを、タブレットの写真で紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びの地図を提示し、今回の学習に該当する部分に触れる。 ・2～3 人の児童の振り返りを発表させる。振り返りの視点がよい児童を教師側が意図的指名し、発表させるとよい。 	
第 5 時	<p>○Song 『EENTSY , WEENTSY SPIDER』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌詞を指で追ったり、意味が分かるようにジェスチャーを取り入れたりしながら全員で歌う。 <p>○Sounds & Letters</p> <ul style="list-style-type: none"> ・p88 の soccer / salad / spaghetti ①S のジングル（音声）を聞かせる。 ②S の発音のポイントを伝え、単語をリピート練習する。 ③S のジングル（音声）に合わせて声に合わせて言わせる。 <p>○その他のシーンのスクリプト 3 つ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 82 と 83 のイラストを見せながら、そのイラストについて児童やり取りをしながら、⑤⑥⑦のシーンの表現を児童に予想させてから音声を聞かせてリピート練習する。 <p>○Activity B⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題文を読み、内容を把握させる。 ・音声を聞かせながら、答えを書き込ませる。 ・一問ずつ音声を止めて、必要ならば HRT が再度ゆっくりと英文を読み聞かせながら児童が答えられるようにする。 ・4 問あるので全て行う。 ・一問ずつ答え合わせをする。 	※本時は記録に残す評価は行わない。

○Let's Listen C

- ①回目：場面絵と共に聞かせる。
- ②回目：What did you hear?と聞き、児童が聞き取った言葉を出させ、それが聞こえたら挙手させながら再度聞かせる。
- ③回目：How many time did you hear "he"と聞き、何度 he が出てきたかカウントしながら聞かせる。

○Let's Chant C

- ①回目：場面絵と共に聞かせる。
- ②回目：全体でリズムに合わせて声に出して言う。
- ③回目：教師と全児童とで役割を分けて交互に言う。

○Activity C①

(1)

- ・問題文を読み、状況を理解させる。
- ・①～④の語句の確認
- ・音声を聞かせ、答えを記入させる。
- ・答え合わせをする際に HRT が再度読みながら確認する。

(2)

- ・学年の先生の名前を使って児童に質問し児童に答えさせる。
- ・児童は予想して答える。正しい答えは事前に打ち合わせて知っておく

例 HRT:Can Mr.○○ play kendama?

C :Yes,he can.

HRT:Can Ms.○○ make taketombo?

No,she can't. など

- ・児童から担任へ、学年の先生のできることを尋ねさせる。

○Activity C②

(1)、(2)を行う。

- ・教師対児童で、音声の後に続いて言わせる。

○Scene

- ・最初から最後まで再度聞かせる。
- ・たくさん聞いてきた英語が初めよりも聞こえると良いことを伝える。

○Reflection

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学びの地図を提示し、今回の学習に該当する部分に触れる。 ・ 2～3人の児童の振り返りを発表させる。1人は振り返りの視点がよい児童を教師側が意図的指名し、発表させるとよい。 	
第6時	<p>○Song</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 音声を流さずに、<u>リズムのみで歌ってみる</u>。これまでの聞く活動を通して、歌えるようになったことを実感させ、自信をつける。 ・ タブレットで<u>歌詞カードの絵と文字を見せながら</u>、教師と児童と一緒に口ずさむ。教師がイラストを指で指示したり、ジェスチャーをしたりしながら、音と意味を一致させていく。 <p>○Sounds&Letters “Tt”</p> <p>H：今日の Sounds&Letters です。音声を聞いて、どんな言葉が出てくるかを確認しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 初めに Sounds&Letters の音声を一度聞き、児童にどんな音が聞こえたか確認する。 ・ 上手に発音するためのポイント(<u>息だけ出す音になる。舌の前面の歯の後ろに付け、一気に息を吐きだす</u>)を伝えてから、ALT の発音を聞いたものよく聞かせ、同じように繰り返し発話する。 ・ リズムに合わせてテンポよく発話させる。教師と一緒に口ずさむようにする。 <p>○Let’s Chant</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Sounds&Letters 後に流れるように、リズムのよいチャンツを聞かせる。学習がぶつ切りにならないよう気をつける。 ・ 1回目は全員でリズムにのって口ずさみ、2回目はペアで partA と partB を分けて役割を交代してもう一度取り組ませる。 <p>○Activity C③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ C③のやり取りのお手本動画を見て、どんな活動に取り組むのかを児童に意識づける。動画終了後は細かい説明はせず、流れるように HRT と ALT はやり取りを行う。本当の答えを言う役の児童をあらかじめ心の中に決め、想像しながら答えていく。(誰のことを質問しているのかが分かりやすいよう、話している対称の人物を指で示しながら対話をしていく) <p>H：Tell me about ○○(児童の名前).</p> <p>A：Sure!!</p> <p>H：Can she play kendama?</p> <p>A：Yes, she can.</p> <p>H：Can you play kendama?</p> <p>C：Yes, I can./No I can’t.</p> <p>H：Can she play kendama?</p>	<p>や〈知〉</p> <p>友達のできることを尋ねたり、答えたりする表現 Can he/she ~? He/She can ~. 及び動作の語句を理解している。</p> <p>や〈技〉</p> <p>Can he/she ~? He/She can ~. 及び動作の語句を用いて、友達のできることを伝え合う技能を身に付けている。</p> <p><動画・行動観察></p>

	<p>C : No, she can't.</p> <p>H : Can you play kendama?</p> <p>A : Yes, I can.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人一人と丁寧にやり取りを行う。「you」と「She(He)」の使い分けに十分留意しながら、後半の方には児童にも一緒に尋ねる表現を使って友達のできることを尋ねさせる。 ・同じ班の人以外で3人組を作り、C③の活動に取り組む。友達のできることを予想して答える人、尋ねる人、本当の答えを言う人にそれぞれ分かれて行い、役割を交換しながらやり取りをする。 <p>○Activity C④ Read & Writing</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A L Tが読む表現の文字を指で追わせ、聞かせる活動を2回繰り返す。音と文字を繋げるようにする。最後は一緒に発話させる。 ・1つ目を丁寧になぞり、読みながら残りを4線に書き写すよう促す。 <p>○Reflection</p> <p>★前回の振り返りでよく書けていた児童を紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びの地図を提示し、今回の学習に該当する部分に触れる。 ・2～3人の児童の振り返りを発表させる。1人は振り返りの視点がよい児童を教師側が意図的指名し、発表させるとよい。 	
--	---	--

<p>第 7 時</p>	<p>○Song 『EENTSY , WEENTSY SPIDER』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェスチャーを入れて歌う。またはスピードを早めて歌うなどの工夫をする。 <p>○Activity C⑤</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題文を読み、状況を理解させる。 ・エイタ、ミドリコ、タクミについて一人ずつ止めて音声を流して問題を解かせる。 ・三人終了後、HRT が再度ゆっくり読みながら丸つけをする。 <p>○Use & Check の①をやる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題文を読み状況を理解させる。 ・一度音声を聞かせる。 ・Take your pencil と言い、鉛筆を持たせて、再度音声を聞かせて問題を解かせる。 ・HRT が再度ゆっくりと読みながら答え合わせをする。 <p>○Use & Check の④をやる</p> <p>p91 Shaggy's Story を行う。</p> <p>①回目：音声を聞かせながら、文字を指で追わせる。</p> <p>②回目：音声に合わせて指で追いながら児童と一緒に読む。</p> <p>③回目：HRT がゆっくりと読み聞かせながら、内容の確認を児童と一緒にやる。</p> <p>選択学習</p> <p>○選択学習の概要を説明する。</p> <p>例：単元のゴールに向けて今まで L.6A , L.6B , L.6C と学習してきました。その中で、もっとできるようになりたいと思っている学習を自分で選んで学習する時間が選択学習です。明日の E-タイムで行います。そのため、今日はその計画を立てます。</p> <p>○ワークシートの配付し、それを使って説明する。記入する。</p> <p>○単元のゴールに向けて、ワークシートをもとに自分の選択学習を行う。</p> <p>○単元のゴールに向けて、自分のできることカードをオクリンクで作成する。作成後、提出ボックスへ提出させる。</p>	<p>※本時は記録に残す評価は行わない。</p>
----------------------	---	--------------------------

<p>第 8 時</p>	<p>○Song</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ BGMのみで楽しく歌わせる。ジェスチャーも入れられる児童は入れて歌わせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>習った表現を使い、クラスの友達誰でしょうゲームをしよう！</p> </div> <p>○Activity 「クラスの友達誰でしょうゲーム」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 提出ボックスを公開し、大型提示機に映しながら実際にゲームを行う。児童2人にボランティアをしてもらい、4人で行う。 <p>H:OK. Let's start. Who is he/she?</p> <p>A:Can he/she ~?</p> <p>H:Yes he/she can. / No, he/she can't.</p> <p>C1: Can he/she ~?</p> <p>H:Yes he/she can. / No, he/she can't.</p> <p>C2: Can he/she ~?</p> <p>H:Yes he/she can. / No, he/she can't.</p> <p>C1:Is he/she ○○?</p> <p>H:Yse. That's right.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 途中で答えが分かってても、全員が質問し終わるまで答えは言わないようにさせる。 ・ 基本的に質問は一人一回。どうしても分からない場合は、一人だけ2回目の質問ができる。 ・ 時間でグループを変え、様々な人と会話できるようにする。 ・ 2回目のグループの様子を、一人のタブレットで撮影する。撮影用にタブレットを使用してしまっている児童は、同じ班の児童のタブレットを一緒に見る。 <p>○Writing 「隣の友達のできることを書こう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシートに、自分の隣の席の友達ができることを書く。 ・ これまで積み重ねてきた、4線に気をつけて書くこと、スペース、アルファベットの大きさなどを再度確認する。 	<p>や〈思〉</p> <p>「クラスの友達誰でしょうクイズ」を行うために、友達のできることを尋ねたり答えたりしている。</p> <p><動画・行動観察></p> <p>や〈主〉</p> <p>「クラスの友達誰でしょうクイズ」を行うために、友達のできることを尋ねたり答えたりしようとしている。</p> <p><動画・行動観察></p> <p>書〈知〉</p> <p>友達のできることを伝える表現 He/She can ~.及び動作の語句について理解している。</p> <p>書〈技〉</p> <p>音声で十分に慣れ親しんだ友達のできることを伝える表現 He/She can ~.及び動作の語句を書く技能を身に付け</p>
----------------------	---	--

		<p>○Reflection</p> <p>★前回の振り返りでよく書けていた児童を紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びの地図を提示し、今回の学習に該当する部分に触れる。 ・2～3人の児童の振り返りを発表させる。1人は振り返りの視点がよい児童を教師側が意図的指名し、発表させるとよい。 	<p>ている。</p> <p><ワークシート> 書〈思〉 友達紹介カードをつくるために、友達ができることについて伝える文を音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて書いている。</p> <p><ワークシート> 書〈主〉 友達紹介カードをつくるために、友達ができることについて伝える文を音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて書こうとしている。</p> <p><ワークシート・行動観察></p>
--	--	---	---

オクリンクで作成するカードの例



- ・提出ボックスは男女別で分け、「Who is he?」と出題者が言ったら男子ボックスを、「Who is she?」と言ったら女子ボックスを開いてクイズを行わせる。または、男子で出題するターン、女子で出題するターンで分けて行わせても良い。